



35th International Symposium on Combustion Report

2014/08/22

Graduate School of Science and Engineering

Yamaguchi Univ.

Ishimura , Hatakeda

Fudhail ,Herman



国際燃焼シンポジウムについて

国際燃焼シンポジウムは、2年に一度開催され、燃焼に関する研究者が研究者が一同に集まる学会です。今年アメリカのサンフランシスコで開催されました。私たちは、ポスター発表で参加してまいりました。



開催期間 2014/08/3~8/8

2年後は韓国のソウルで...





旅程

山口宇部→福岡（バス）
福岡→台北（飛行機）
台北→サンフランシスコ（飛行機）



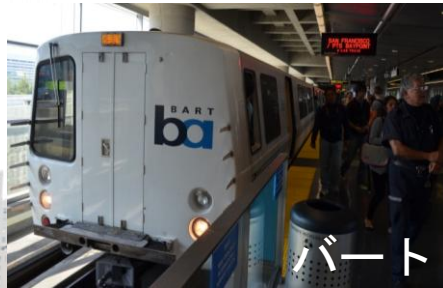
サンフランシスコまでは、乗換も含め30時間以上という長い道のりでした。到着直後の現地の気温は20度以下。半袖で移動していた私たちはすぐさま冬仕様に衣替えしました。

サンフランシスコ到着

サンフランシスコについて



ケーブルカー



バート



サンフランシスコは、アメリカ西海岸を代表する都市の一つです。空港よりバート(鉄道)に乗り、数十分で市内に入ります。市内にはケーブルカーやバスが走っており、都市面積も狭いため短い期間の観光にはうってつけの都市でした。

観光名所としては監獄島と呼ばれている

アルカトラズ島や海峡にかかるゴールデンゲートブリッジ、ベイブリッジがあり、美しい風景を堪能しました。MLB球団の球場に行くのもお勧めです。



アルカトラズ島



ベイブリッジ

AT&Tパーク



宿泊ホテル(North Beach)



今回宿泊したホテルは苦学生にやさしいNorth Beach. 事前の調査では、古い病院を改装した感じ」とあり、ホテルへ向かうタクシーでも「That hotel isn't comfortable!!」だと言われました.

しかし実際、会場まで徒歩10分、主要観光地も近く繁華街の中心にあり、立地条件は最高でした。シャワー・トイレは共同ですが、館内は清掃が行き届いており、水周りも綺麗で、ガードマンもおられるので、安全だと思います。このような好条件が揃っていながら他の市内ホテルに比べて料金も安く非常にお勧めです.



今回の学会



開会セレモニー



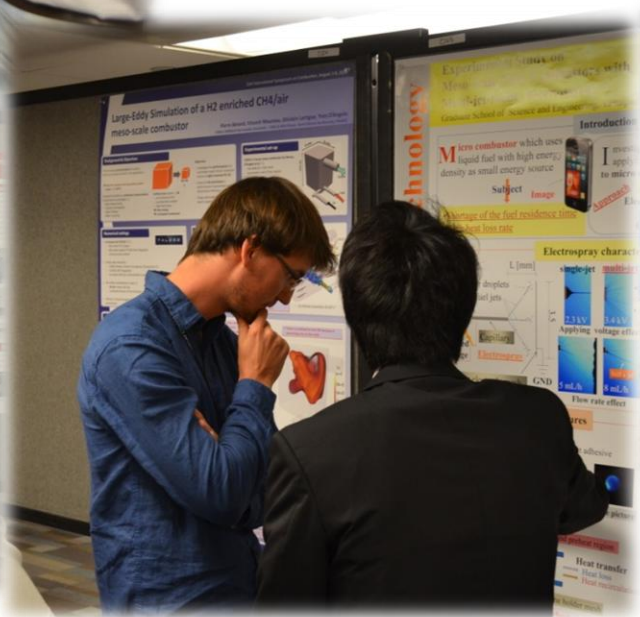
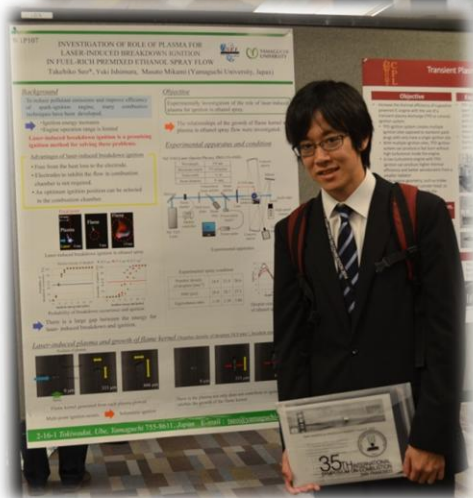
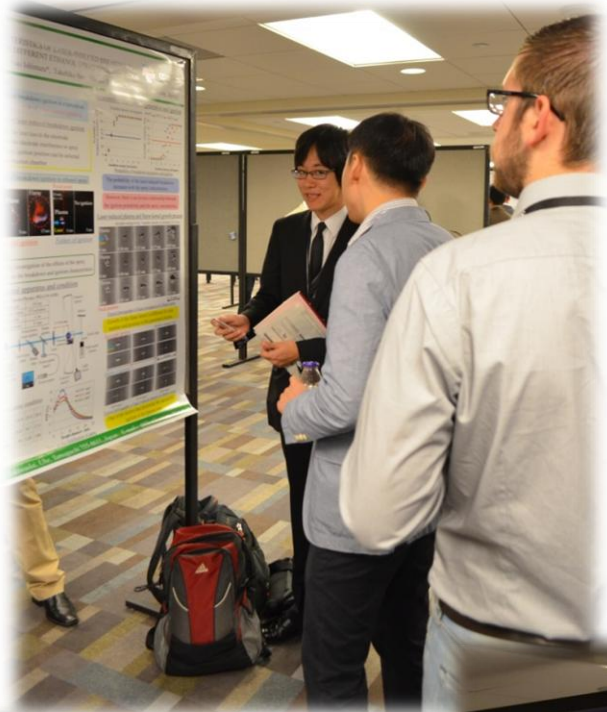
会場：Hyatt Regency



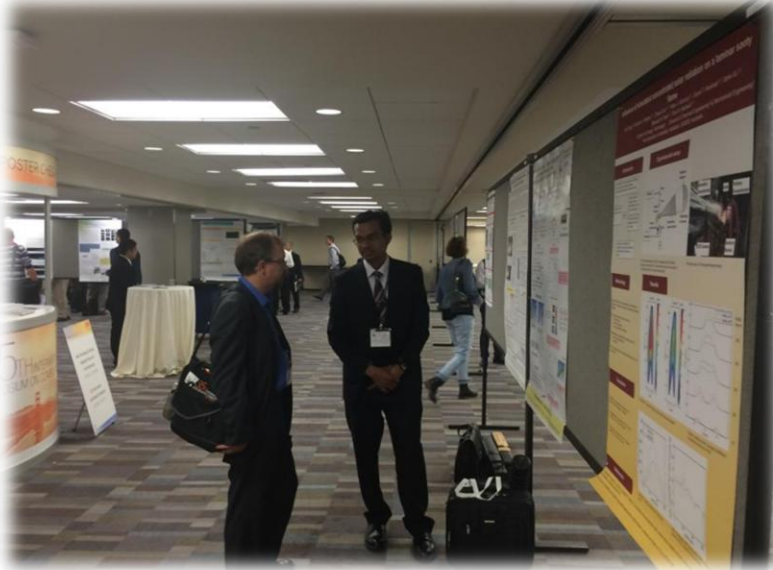
今回の学会の会場は、Hyatt Regencyで開催されました。数百人が収容できるメインホールで開会のセレモニーが行われ、参加人数の多さに本学会の規模の大きさがうかがえました。登録名のミスもありましたが、無事レジストレーションも済ませ、ようやくスタートラインに立つことができました。

ポスター発表(石村、畠田)

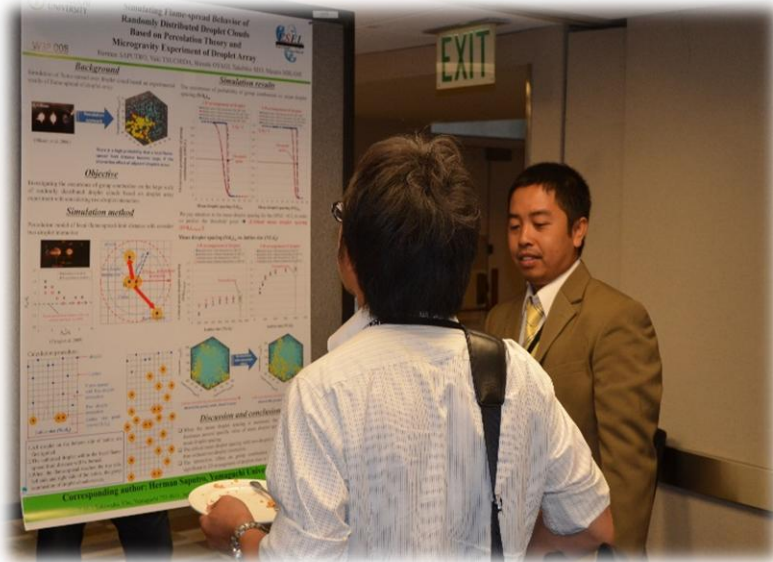
今回の学会は、口頭発表の会場とポスター発表の会場が近かったためか、講演の合間に多くの研究者がポスターの会場を訪れ、盛んにディスカッションをしていました。私たちのポスターも多くの方に興味を持って頂き、午前中だけで15人の方と英語を用いたディスカッションを行うことができました。自身の拙い英語にも熱心に耳を傾けて頂き、同様の研究をされている方にはアドバイスを頂くことができました。



Poster Presentation (Fudhail & Herman)



The meso-scale combustion poster drew many interested participants. Some of them are not really familiar with the micro and meso scale power generation. The common question asked is how to suppress the heat coming from the outlet (exhaust).



The micro gravity combustion poster has also managed to attract few participants. Some of them are also doing research in the same field. Active discussion was involved during the presentation. Even some of the participants dispute the accuracy of the results.

学会行事（湾内クルーズ、バンケット）



学会行事は、湾内クルーズやカリフォルニア科学アカデミーでのディナーが催されました。

フェリーから見るサンフランシスコの街並みや、ゴールデンゲートブリッジはとても綺麗でした。ディナーでは、世界各国の研究者の方に囲まれ、会話をしながら、おいしい料理をいただきました。



学会行事 (Young researcher mixer)



若手の研究者が集う Young researcher mixer という行事も催されました。会場は、バンケットとはうってかわり、Jillian's Sports Bar で行われました。会場にはMLBの試合が大型スクリーンで放映され、ビリヤードをすることができるなど、とてもフランクな環境で交流をすることができました。一緒に食事やビリヤードをする中で仲良くなり、たくさんの出会いがありました。このようにして世界中の研究者の輪が広がり、研究においても気兼ねなく活発なディスカッションが行えているのではないかと感じました。



食事



アメリカの食事と言えば、ボリューム満点でワイルドな料理がいっぱいあります。チキンの丸焼きやステーキサンドウィッチなどです。ベイエリアですので美味しいシーフードも見逃せません。日本の寿司もアメリカナイズドされていましたが美味しかったです。しかし、マクドナルドはアメリカも日本も味は一緒ではないかと感じました(笑)。

交流



街を歩いているとアメリカの人々はフランクで、いろいろなところで言葉を交わすことができました。レストランでも店の人が「ご飯は美味しい？」や「楽しんで」などのちょっとした一言で嬉しい気持ちになりました。こういうフランクさは日本人も学ぶところが多いと感じました。

観光



休日は、市内観光や世界遺産であるヨセミテ国立公園、ソノマという所に出かけました。国土が広大なために主要な名所が離れており、市街から出ると、車を使わないと本当に移動が困難でした。ですが、その道中含めて観光を満喫しました。

三上先生，瀬尾先生有難う御座いました！

